

特定非営利活動法人NPOサポートちがさき 事業報告

平成 24 年度(2012 年度) (平成 24 年 4 月 1 日より平成 25 年 3 月 31 日まで)

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営事業

内 容 施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。
日 時 4 月～3 月・通年
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従 事 者 14 名
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額 19,015,827 円

2. 社会貢献活動に関する相談、助言事業

余暇支援事業

内 容 福祉的な余暇活動を支援するネットワークに参加して一般市民との橋渡しを行った。
日 時 10 月 20 日
場 所 神奈川県立茅ヶ崎養護学校他
従 事 者 2 名
受益対象者 福祉関係者及び市民
支 出 額 10,000 円

3. 社会貢献活動を行なう個人および団体相互の交流事業

ぱりあふりーカフェ事業

内 容 心のバリアフリーをめざし交流懇談会を開催した。
日 時 10 月 28 日
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター
従 事 者 3 名
受益対象者 公益活動団体、福祉関係者及び市民
支 出 額 8,914 円

4. 社会貢献活動に携わる人材育成事業

新しい公共の担い手ブラッシュアップ事業

内 容 公共サービスの担い手となる NPO の基盤強化のため「新しい公共の担い手ブラッシュアップ事業」(茅ヶ崎市と NPO 法人湘南ふじさわシニアネットによる協働推進事業)に協力した。
日 時 4 月～3 月・通年
場 所 茅ヶ崎市高砂コミュニティセンター、茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従 事 者 3 名
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額 1,170 円

5. 情報の収集と提供事業

(1) コミュニティビジネス応援事業

内 容 地域課題をビジネス手法で解決するコミュニティビジネスの情報を収集した。

日 時 4月～3月・通年

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター、茅ヶ崎市立美術館内サンカフェ他

従 事 者 6名

受益対象者 コミュニティカフェに関心のある個人および一般市民

支 出 額 12,990円

(2) ハーモニー発行

内 容 積年の課題であった会員向け情報紙「ハーモニー」を隔月に発行した。

日 時 偶数月

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従 事 者 3名

受益対象者 市民活動に関心のある個人

支 出 額 15,299円

6. 政策提言・協働に関する調査研究事業

(1) 茅ヶ崎市新しい公共円卓会議準備会

内 容 多様な主体が適切な役割分担の下で、補完し合いながら課題解決するための新たな枠組みづくりの検討を行う「茅ヶ崎市版新しい公共円卓会議」の設置に向けた準備を行った。

日 時 年間6回

場 所 茅ヶ崎市役所他

従 事 者 6名

受益対象者 新しい公共に関心がある市民・行政

支 出 額 0円

(2) 企業とNPOのマッチング事業

内 容 NPOとのパートナーシップに関するアンケート調査、企業とNPOの交流サロンを実施した。

日 時 2012年7月～11月・随時、年間6回

場 所 茅ヶ崎市役所他

従 事 者 7名

受益対象者 市内企業、NPO、行政及び企業との協働に関心がある市民

支 出 額 77,024円

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

内 容 新しい公共支援プログラムを活用して組織基盤強化を図ることができた。

日 時 通年・随時

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従 事 者 7名

受益対象者 会員および関係機関

支 出 額 9,600円

事業の詳細は次の通りです。

茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業 (P3～P13)

平成 24 年度(2012 年度) (平成 24 年 4 月 1 日より平成 25 年 3 月 31 日まで)

年間を通してサポートセンター10周年記念事業を実施した。いずれも熱気にあふれ多くの出会いとつながりが生まれた。また、新しい公共支援事業に関わる研修に継続的に参加し、第一線の講師から社会的課題の解決方法を事業化する感性と行動力を磨くことを学んだ。今後の事業の組み立てに活かされることが期待される。

1-1. 市民活動に関する情報収集及び提供に関すること

(1) 市民活動推進のための情報誌「さばせんニューズレター」の発行 (4回)[広報]

- ・サポートセンター主催事業の開催告知および報告など、年間の支援事業を網羅した内容の他に、開設 10 周年を迎えたセンターのあゆみを3回に亘って掲載。
- ・夏号(7/1)・冬号(11/1)・春号(2/1)・臨時号ワイワイ特集(3/25)各号 2000 部を発行。
- ・市内公共施設ならびに館内配架の他、ガイドブック登録団体、近隣市のボランティア支援施設、市内協力団体・個人・企業へ配布。

(2) イベント紹介、団体間交流推進のための情報提供 [事務局]

- ・分野別に館内掲示し、市民活動団体活動メモリーファイル(187 件)にも活動履歴を紹介。
- ・月次、WEB 版市民活動団体イベント一覧を毎月更新。
- ・データベース登録団体に分野別イベント案内などをメール・FAXにて情報提供。31 件

市民活動団体より受け付けたちらし・ポスターの内訳

| 団体 PR | 募集 | 機関紙 | イベント | その他 | ちらし・ポスター総数 |
|-------|-----|-----|------|-----|-----------------|
| 88 | 260 | 534 | 961 | 308 | 2,151(前年比 101%) |

(3) 市民活動団体ガイドブックデータベースの作成、管理 [ガイドブック]

- ・市民活動ガイドブックの全面リニューアルに伴ないデータベースを新たに構築。
- ・データベース登録団体に対して個人情報の同意書・掲載内容などの確認を年 1 回実施。
- ・年間を通じて団体情報に変更になった場合は即時に修正し、更新。

(4) 市民活動ガイドブックの編集・発行 [ガイドブック] *新規に取り組んだこと

- ・名称を「茅ヶ崎市民活動ガイドブック」に改めて、「市民活動コラム」を掲載し、ボランティアや市民活動をした人への情報発信を強化。
- ・NPOへの信頼と共感を得るために、「当年度予算」「有償スタッフ」「助成実績」「一言 PR」を追加。
- ・写真入りサポートセンターの利用案内や「地域メディア情報」を掲載し、全面的にリニューアルして、企画・編集。287 団体(前年比 101%)を掲載。
- ・同掲載団体より毎月 2～3 団体を広報ちがさき「市民の活動だより」に随時紹介。

(5) サポートセンターホームページの維持管理 [広報]

- ・Blogn というブログを使用して、イベントや助成金、ボランティア情報をタイムリーにアップした。
- ・新たに SNS の Twitter を開設しスタッフがセンターの様子や状況を知らせることができた。

2013年4月30日現在、フォロワーが136名(団体)

・年間アクセス数:101,075件(前年比111%)

(6) 市民活動団体、関係機関が発行する機関紙等の収集及び管理 [事務局]

・掲示物のレイアウトを一新して、「イベント情報」、「機関紙」、「募集」、「リーフレット」、「新聞記事」など掲示、配架スペースの整備を拡充。

・各種ファイル、図書コーナーを整備。

・助成金や市民公募、パブリックコメントなど、市民要望が高い情報を収集し提供。

(7) サポートセンター利用案内・パンフレットの編集、発行 [事務局]

・小学生版、高校生版の利用案内作成、サポートセンター利用案内・パンフレット1,000部発行

(8) 市民活動に関する図書の購入及び管理 [事務局]

・在庫整理をして、ボランティアやNPOの運営などニーズに即した図書を充実。

ホームページに掲載することで、利用者が読みたい本を絞り込み貸出の利便性を向上。

・専門書(NPO関係・子育て関連)の貸出が増えた。

・定期購読(NPOマネジメント・ウォロ・たあとる通信・ビッグイシュー)

1-2. 市民活動の相談に関すること

(1) 窓口業務の範囲としての相談(102件) [事務局]

1) 東日本大震災支援: 昨年に引き続き、支援物資の仲介に加え、募金や活動の収益金を直接被災地または被災者に届けたいという思いを受けその橋渡しをした。

2) NPO 法人制度等: 代表権喪失の登録変更についてのお知らせハガキを送ったことで、登記上の手続きに関連する相談が多かった。

3) 企業からの社会貢献活動に関する相談: 今年度目立ったのは、ビジネスパートナーとしての期待感を持って積極的に働きかける企業も出てきたこと。

4) 個人の相談: 市の広報紙等で市民活動特集が掲載された影響もあつてか、新たな第一歩を踏み出したいと来館されるケースも多く、シニア世代だけではなく、プロボノ活動を希望する社会人を実際の団体活動へと結びつけて、高校生のボランティア活動を推進することができた。

相談の内容

| 活動内容 | 施設の利用 | チラシの館内掲示 | 団体運営 | 助成金 | NPO法人 | その他 |
|------|-------|----------|------|-----|-------|-----|
| 45 | 5 | 2 | 5 | 6 | 6 | 33 |

相談者の内訳

| 個人 | 市民団体 | NPO 法人 | 福祉施設 | 学校 | 企業 | 行政・機関団体 | 社会教育施設 |
|----|------|--------|------|----|----|---------|--------|
| 21 | 27 | 25 | 1 | 12 | 9 | 4 | 3 |

1-3. 市民活動推進事業の実施及び市民活動団体、市民、事業者、行政との連携推進に関すること

(1) 「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施 [ユースボランティア・総合学習]

・(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会との2者共催で開催。

・東日本大震災から2年目、青少年にもボランティア活動が根付いたようで参加者は123名となった。また、前年の参加者が引き続き参加を申し込み、ボランティア活動に積極的な姿勢が見えてきた。

- ・本事業は 10 年目を迎え、もっと身近に感じてもらえるよう“ロゴ&キャラクター”を一般に広く募集。
その結果、市内・県外から 36 点の応募があった。ユースボランティア参加者ならび受入れ団体の選考後、共催 2 団体の最終審議を経た最優秀作品は、次年度よりポスター・ちらし等で広報していく。

ユースボランティア茅ヶ崎

7 月 20 日(金) オリエンテーション①18:00～20:00(茅ヶ崎市民活動サポートセンター)

7 月 21 日(日) オリエンテーション②14:00～16:00(さがみ農協ビル 5 階 大会議室)

7 月 23 日(月)～9 月 15 日(土) ボランティア体験

中学・高校生～大学生くらいまでが 19 受入団体・施設にて2日以上体験

8 月 28 日(火) カフェ de ボランティア 14:00～16:00(茅ヶ崎市民活動サポートセンター)

⇒ 体験記作成

ロゴ&キャラクター募集

応募期間:7 月 20 日(金)～8 月 21 日(火)

選考会:9 月 20 日(木) 茅ヶ崎市社協 B 会議室 表彰式:12 月 9 日(日) サポートセンター

(2) 「地域ボランティアエアポート」 [ユースボランティア・総合学習]

高校生のボランティア活動を支援する拠点として周知され夏休み以外の受け入れも仲介。

6 月 20 日(水) 地域貢献活動・ボランティア活動に係わる説明会(国際言語文化アカデミア)

神奈川全県立高校の教諭 10 地区 18 施設ボランティアエアポート担当者と交流。

2 月 27 日(火) 地域ボランティアエアポート連絡会(神奈川県民センター)参加。

(3) 総合的な学習の支援 [ユースボランティア・総合学習]

課題を見つけ自主的に活動を行う人との出会いやふれあいの中で中高生にできるボランティアを知る。

7 月 11 日(水) 寒川旭が丘中学校 2 年生の授業「279つなぐスペシャル」にて講義 20 名

12 月 4 日(火) 寒川「中学校 2 年生「だから人生は素晴らしい」(絆プロジェクト)にて NPO 法人一心一
一に加藤壮章氏と対談 35 名

9 月 14 日(金) 松林中学校 3 年生の授業(講師派遣) ロールプレイ、一心一加藤氏のおそうじパ
フォーマンス・体験談、事務局長による鶴嶺高校 2 年生の被災地ボランティア紹介
、ボランティアについて講義。 231 名(松林中学校体育館)

11 月 13 日(火) 「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」生徒が希望団体の講義・ワークショップを受講。

(鶴嶺高校各教室等) 1 年生 360 名 (市民活動団体 14 団体)

11 月 20 日(火) ボランティア塾全体学習 昨年度の塾から発展して被災地ボランティアを行った
現 2 年生 21 名の声と写真をまとめた DVD を上映後、事務局長が現地の高校生の
様子・進路の決め方などを伝えた。(鶴嶺高校体育館)

1 月 16 日(水) 「ボランティア塾 in 茅ヶ崎西浜高校」生徒が希望団体の講義・ワークショップを受講。

(茅ヶ崎西浜高校各教室等) 1 年生 360 名 (市民活動団体 15 団体)

1 月 23 日(水) " (14 団体)

(4) NPO 講座の実施(4回) [NPO 講座]

NPO が市民の共感と信頼を得ていくために、広報活動を「市民レポート」のような形で支援しようと文

章講座を開催した。子育て中の女性からシニア男性まで幅広い年代の 10 名が集まり、共感される文章を書くコツを学んだ。講座終了後、継続したいという熱意を受け、ボランティア塾の授業レポート作成を課題とするフォローアップを企画した。参加者には自分の書いた文章を添削してもらえ、ボランティア塾主催者には、参観できなかった授業の様子を知ることができるという、双方にメリットがある企画となった。

3 月には、NPO の会計無料相談会を開催し、1 団体 30 分という短い時間ながら自分たちの活動にあった会計書類作成に対し、的確なアドバイスを受けることができた。

| 開催日/場所 | 概要 | 参加人数 |
|--|--|--------------|
| 11 月 16 日(金)、30 日(金)、12 月 14 日(金) 場所: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター | 共感される文章講座(全3回) 初回講義の後、2・3回目は、添削された文章課題をもとに、読み手の心に届く、印象に残る文章を書くためのコツを学んだ。 講師: 坪田知己氏(元日経新聞記者) | 10 名 |
| 1 月 16 日(水)、 23 日(水) 場所: 茅ヶ崎西浜高校 | 共感される文章講座フォローアップ ～「ボランティア塾 in 茅ヶ崎西浜高校」授業レポート～ 市民活動団体による 50 分授業を参観後、授業の様子をレポートした。 授業レポートは、HP 上で公開。 | 4 名 |
| 3 月 22 日(金) 場所: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター | NPO の会計基準・決算書の作り方 個別無料相談会 3 月決算から会計基準が変更になるため、NPO 法人または NPO 法人化をめざす団体を対象に、個別相談を行った。 共催: 一般社団法人 公益アシストかながわ | 7 団体 10 名 |

(5) NPOと行政の協働に向けた意見交換会の実施 [協働・意見交換会 P J]

市民の幸せを目指し、協働の芽を育て、協働推進事業実施への可能性を探る話し合いの場。

NPO 等と市職員が対等な立場で茅ヶ崎の様々な課題を共有し、それぞれの立場でできること・アイデアを持ち寄って、協働推進事業実施への可能性と、共に協力し合うことができる接点を探った。

参加: 22 団体(★成案化: 5 件)

| 開催日 | テーマ | 団体 (*は NPO 法人) | 行政担当課 |
|----------------|---|--------------------|----------------------------|
| 8 月 7 日 (火) | 茅ヶ崎市認定ジョブ・ヘルパー(高齢者)を養成し、障がい者の就労定着自立支援を始め、それ以外でも社会貢献度の高い支援事業を展開する。 | かながわ就職支援研修センター (*) | 雇用労働課、障害福祉課 |
| | ★まちづくりセンター | まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎 | 景観みどり課、企画経営課 |
| | ★茅ヶ崎海岸の緑 | ゆい (*) | 景観みどり課、農業水産課、広域事業政策課、環境政策課 |

| | | | |
|--------------|--|-------------------------------------|------------------------------------|
| | 自治意識の醸成と未来を担う次世代の醸成 | 茅ヶ崎トラストチーム | 教育施設課、子育て支援課、防災対策課、社会教育課 |
| 8月9日 (木) | 小学校、中学校の先生方と もっと繋がりたい! 民間機 関が連携に加われる仕組 みが欲しい! | 発達サポートネット バオバブの樹 (*) | 障害福祉課、 こども育成相談課、学務課、 学校教育指導課 |
| | ★手話通訳者養成講座受 験対策講座(養成講座) に 対する支援について | 茅ヶ崎市聴覚障害者協会、 茅ヶ崎市手話通訳者連絡会 | 障害福祉課 |
| 8月18日 (土) | 新しい公共の基盤強化と 地域情報化 | 湘南ふじさわシニアネット (*) | 情報推進課 |
| | おやこの居場所ひろば 事業 | ワーカーズコレクティブ ぷらねっと (*) | 子育て支援課、保育課、 こども育成相談課 |
| | 藤間家の道具の調査報告 及び市民への広報 | 湘南を記録する会 | 社会教育課、 文化生涯学習課 |
| | 医療関連個人情報のQR コード採用とカード発行 について | 湘南子どもフォーラム懇談 会 (SCP) 「わーく」編集部 | 防災対策課、保健福祉課 |
| 8月20日 (月) | 避難訓練などへの市民の 参加促進 | うみ～元気プロジェクト | 防災対策課、教育施設課 |
| | ★大きな可能性を秘めた (仮称)柳島キャンプ場の本 格オープンに向けた、プレ オープン時における魅力 的な協働事業の開催 | 茅ヶ崎つなぐ海と森 | 公園緑地課 |
| | 障害者の就労の場の促進 | ふれあい就労推進委員会 | 雇用労働課、農業水産課、 障害福祉課 |
| | 人材の活用と、継続して相 談に対応するためのしく みづくり | こころのフリースペース ポレポレちがさき | 男女共同参画課、青少年課、 雇用労働課 |
| | シニア世代のための健康 で健全な機会を提供する ための行政との協働 | シニアダンスサポート (*) | スポーツ健康課 |
| | 不登校あるいは不登校傾 向、コミュニケーションに 悩む小・中学生への学習支 援・居場所づくり | 青少年サポート協会 (*) | 青少年課、教育センター |
| | ★企業との協働のための 環境整備として『人づく り・関係づくり』事業 | NPOサポートちがさき (*) | 市民自治推進課、 企画経営課、産業振興課 |

| | | | |
|--------------|---|-------------------------|---------------------------------------|
| 8月21日 (火) | アートを通じて茅ヶ崎を活性化、茅ヶ崎ならではの映画製作を通じて、フィルム・コミッション導入など | 湘南 artTV 「湘南 SHOW 点」 | 産業振興課、 文化生涯学習課 |
| | 図書館における読書会の実施 | Shonan Reading Program | 図書館、文化生涯学習課、 男女共同参画課 |
| 8月23日 (木) | 外国籍市民のための日本語教授ボランティアの育成ならびに技術アップ講座 | 茅ヶ崎にほんごの会 あいあう | 文化生涯学習課、 男女共同参画課 |
| | ビリヤード・ダーツで様々な方の『生きがい』や『交流』に貢献する | 茅ヶ崎ビリヤード・ダーツクラブ (仮) | スポーツ健康課、文化生涯学習課、 障害福祉課、 高齢福祉介護課 |
| | より多くの人に茅ヶ崎の情報や魅力を伝える手段の提案 | メディア茅ヶ崎 | 秘書広報課、情報推進課 |

(6) 団体交流・懇談事業「市民活動カフェ」の実施(年2回)[団体交流・懇談]

1) 茅ヶ崎維新カフェ

今の時代にはない信念と覚悟、情熱と決意を持った人、誰も通らなかった道を自分たちの力で切り拓こうとする行動力・発想力を持った人に会ってお話をする交流会。

不登校・引きこもり、自衛隊、日本一周の旅、ディズニーランドの勤務など様々な道を歩み、現在は悩んでいる人たちに気づき・きっかけを与えたいと、JR茅ヶ崎駅北口の清掃や就労支援の活動をしている加藤氏をゲストに迎えた。当日は参加者が思い思いの掃除用具を手に、駅周辺でおそうじ体験。その後ハスキーズギャラリーへ移動して交流会を行った。

参加者からは「自分と同じ経験をもった方が、多くの人の中で話をする場があること、話をする勇氣、ステキな笑顔が印象的だった。」また、「なにかできることがある。なにかやらなくてはと思う人がこんなにいることを知り、勇氣をいただいた」などの感想が寄せられた。加藤氏の信念と、どんなことにも前向きに取り組む姿勢が伝わり、感謝の気持ちあふれるステキな時間となった。

| | | |
|-----------------------------------|--|-----|
| 6月23日(土) 13:30~16:00 カフェ 33 | 第7回 清掃で伝える感謝と勇氣～一歩踏み出すその先に～ 加藤 壮章氏(NPO 法人一心一) 場所:茅ヶ崎駅北口ペDESTリアンデッキ&ハスキーズギャラリー 協力:(有)ハスキー企画 | 34名 |
|-----------------------------------|--|-----|

2) めざせ災害エコレンジャー2012

NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワークとの共催で、茅ヶ崎市総合体育館にて小学生とその保護者を対象にソーラークッカーを「テルケス型」にグレードアップし、エコと防災に役立つ体験型の講座を開催した。

| | | |
|--------------------|---|------|
| 10月6日(土) カフェ 34 | めざせ災害エコレンジャー2012 共催:NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワーク | 112名 |
|--------------------|---|------|

| | | |
|--|-----------------------------------|--|
| | 後援:茅ヶ崎市、茅ヶ崎市教育委員会 協力:さぼせんサポーターズ3名 | |
|--|-----------------------------------|--|

(7) 市民活動フォーラム 2013(さぼせんワイワイまつり)の企画・実施 [市民活動フォーラム]

1) 映画「僕らのミライへ逆回転」野外上映会、映画「葦牙-あしかび-」上映会 & 交流会

第1回茅ヶ崎映画祭「街とひとがつながる手づくりの映画祭」に参加。2011年度に実施した第6回茅ヶ崎維新カフェ「映画で茅ヶ崎を元気にしよう」でうまれた出会いが発展し、実現した。

映画「僕らのミライへ逆回転」上映会は、星空の下、こどもから大人までたくさんの人で賑わい、手づくりのカラフルな旗が夜風になびく中、野外上映に初挑戦した。「今までにない出会いと空間をつくりたい」という願いから、ホットドッグやレモネード、マッサージなどを扱う市内のお店も出店。それぞれのスタイルでワクワク楽しみながら鑑賞した。初めて訪れた方たちとの出会い、同じ時間・空間を共有できた喜び、公共施設での野外上映もアリなんだ！という驚きと感動に包まれたイベントだった。

| | | |
|------------------------------|--|------|
| 6月2日(土)&3日(日) 19:00~21:00 | 映画「僕らのミライへ逆回転」野外上映会 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター駐車場 協催:輪輪シネマ 協力:(株)AGC セイミケミカル、茅ヶ崎市役所、 (株)ENEOS フロンティア Dr.Drive セルフ茅ヶ崎店 | 135名 |
|------------------------------|--|------|

映画「葦牙-あしかび-」は、児童虐待の当事者であるこどもたちが登場するドキュメンタリー。「3日に1人こどもが命を落とす事実があることを知ってほしい」、「虐待というデリケートな問題に対して、わたしたちはどのように関わっていくべきなのか考えるきっかけにしたい」という監督の想いに共感し、この作品を選んだ。

参加者からは「現場に入ってこどもたちの話を取り上げたことに感謝と感動」、「虐待を連鎖させない強い想いに心打たれた。家に戻ったらわが子を抱きしめてあげたい」、「こどもたちのその後が気になる。続編をつくってほしい」などの声が寄せられた。また上映後の交流会では、小池監督からこどもたちの様子など撮影時のエピソードをお話いただいたほか、児童養護施設や教職員として現場に携わった経験がある方のお話も伺うことができた。

| | | |
|------------------------|--|-----|
| 6月3日(日) 14:00~17:00 | 映画「葦牙-あしかび-」上映会 & 交流会 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター ゲスト:小池征人監督 | 46名 |
|------------------------|--|-----|

2) イザ!カエルキャラバン in ちがさき2012

小学生から参加できる楽しく学べる防災体験プログラムとおもちゃのかえっこを組み合わせた新しい形の防災イベントを茅ヶ崎市中央公園と総合体育館にて開催した。

開催にあたり自治会、市民活動団体やボランティア約100名の協力があつた

| | | |
|----------|------|--|
| 7月14日(土) | 事前研修 | |
|----------|------|--|

| | | |
|-------------------------|--|--|
| 8月10日(金) | 「葛西臨海たんけん隊カエルキャラバン」視察見学 カエルキャラバン合同研修会(3331ArtsChiyoda) *茅ヶ崎トラストチーム(共催者)と参加 | 5名 5名 |
| 9月30日(日) | イザ!カエルキャラバン in 環境エネルギー館 運営スタッフ研修 *茅ヶ崎トラストチーム(共催者)と参加 | 4名 |
| 9月26日(水) | 湘南地区自治会連絡会に協力依頼 松尾自治会館 | 6名 |
| 11月17日(土) | ボランティア向け事前説明会・研修 講師:NPO 法人プラスアーツ | 40名 |
| 12月8日(土) 12:00~15:00 | イザ!カエルキャラバン in ちがさき2012 共催:茅ヶ崎トラストチーム 企画協力:NPO 法人プラスアーツ 後援:茅ヶ崎市、茅ヶ崎市教育委員会 協力:自治会(5)、NPO(5)、企業(2)、市役所(2)、消防署 茅ヶ崎社会福祉協議会、さぼせんサポーター他ボランティア 23名 協賛:NPO 法人湘南スタイル、宮田工業(株) (株)モンベル茅ヶ崎店 (株)浜田屋 | 参加者 小学生 保護者 400名 協力者 100名 |

3) さぼせんワイワイまつり「ありがとう~つながる思い 拓く未来~」

10周年記念ファイナルイベント。39団体が参加し、「茅ヶ崎のために自分ができることを考え、やってみる」という市民活動の楽しさを来場者の方々に伝えた。

また、2002年開館時の懐かしい写真や当時の出来事、思い出を振り返って10年のあゆみを作成・掲示。お世話になった方々に感謝状も贈呈した。また記念品として「さぼちゃんクリップ」を配布したほか、初めてプログラム冊子を作り、事前に配布・PR。この結果、過去最多の約2,000名が参加。そして、市民活動する人たちと応援する人たちがさらに“つながり”、ありがとうという“感謝”の気持ちを伝えあい、「一人ひとりが支えあって暮らしていく未来に向けてできること」を一緒に考え、楽しむイベントとなった。

来年度は、参加団体の増加によりサポートセンターのスペースが限られてきたことを受けて、中央公園をメイン会場とした開催も視野に入れ、企画を進めていく。

| | | |
|-----------------------|--|---|
| 3月2日(土) 9:40~15:30 | 「ありがとう~つながる思い 拓く未来~」 場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター、茅ヶ崎中央公園 内容:模擬店、物品販売、体験、パフォーマンス、 スタンプラリー、オリジナル企画 | 参加者:約2,000名 参加団体:39団体 協力:サポーターズ 他ボランティア13名 |
|-----------------------|--|---|

(8) 市民活動ネットワーク会議に関すること [事務局]

昨年度に引き続き、新しい公共支援事業の関係する研修に積極的に参加して支援プログラムのヒントを得た。また近隣支援センターとの連携や情報交換も日常的な支援に役立てることができた。

05月14日 協働の新たなステージへの環境創出事業(以下、新協働のステージという)

各地における協働提案型制度の比較分析「鎌倉・川崎・茅ヶ崎・相模原」2名

06月05日 NPO支援施設ミーティング 2名

NPO次世代リーダー研修I期生フォローアップ公開講座 2名

- 06月14日 企業とNPOのパートナーシップミーティング Vo. 1 1名
- 07月10日 企業とNPOパートナーシップミーティング in 小田原 1名
- 7月16日～8月31日 FMヨコハマ「もっとつながろう!NPO」番組製作への協力
茅ヶ崎から20団体を推薦3団体がオンエア。7月20日ほのぼのビーチちがさき、
7月31日ムリンディージャパン、8月14日ちがさき自然エネルギーネットワーク
- 07月16日 NPO支援センター相談スタッフ研修会 2名
- 07月17日 協働事業の評価「どうやって目的を共有するか」新協働のステージ
よくある協働のズレ 茅ヶ崎の事例紹介後、意見交換会 1名
- 07月24日 障害者就労支援分野の社会企業家事例ケース会議 新協働のステージ 1名
- 07月30日～10月12日 NPO次世代リーダー研修講座（全6回） 1名
- 09月05日 企業とNPOのパートナーシップミーティング Vo. 2 1名
- 09月05日 相談対応における市民活動支援組織間の連携 2名
- 09月18日 協働事業における著作権についてケース会議 新協働のステージ 1名
- 09月26日 NPO次世代リーダー研修フォローアップ研修 1名
- 10月10日 活動基盤強化プログラム 共感CM研修 2名
- 10月24日 活動基盤強化プログラム 共感CM研修 2名
- 10月25日～12月21日 坪田先生の文章講座 大倉山ミエル(全5回)
- 11月10日 NPO交流サロン×NPOマネジメント講座 活動戦略フォーラム 1名
- 11月15日 「協働事業のコーディネートの仕組みと担い手」ケース会議 新協働ステージ 1名
- 11月19日 企業とNPOパートナーシップ キックオフミーティング 1名
- 11月23日 イーパーツ寄贈パソコン(PC)寄贈プログラム意見交換会 1名
- 11月25日 支援施設相談スタッフ研修(一般社団法人ソーシャルコーディネート神奈川主催) 1名
- 11月26日 中間支援組織スタッフ作戦会議 1名
- 12月18日 活動基盤強化プログラム全体報告会/事例共有会 9名
- 12月28日 FMヨコハマ「もっとつながろう!NPO」番組製作への協力 NPO法人一心一推薦・放送
- 01月15日 県条例指定NPO法人制度説明会 1名
- 01月16日 協働コーディネーター養成講座(初級) 4名
- 02月01日 かにゃおの世にゃ押し太鼓判キャンペーン 1名
- 02月02日 セカンドリーグ神奈川法人設立シンポジウム「コミュニティカフェ」 1名
- 02月09日 相模原市民活動サポートセンター10周年記念式典 2名
- 02月27日 ボランティアエアポート連絡会 1名
- 02月28日 NPOがNPOであるためにシンポジウム 1名
- 03月16日 イーパーツリユースPC寄贈プログラム寄贈式・講習会 3名
- 03月26日 財務会計・収益向上のための全体報告会/事例共有会 3名

(9) C-ブックによる地域資源の活用ならびに社会貢献活動の推進 [事務局]

ガイドブックデータベース登録団体に対して、ちがさき地域通貨 C-リングの循環による社会貢献活動の推進をめざした貸スペース「ハスキーズギャラリー」の使用を仲介。(使用料の半額を充当)
貸出実績 3件

1-4. 視察および見学者に対する適切な対応 [事務局]

市民活動支援や協働推進に関する視察に対応、県・市職員研修生受入にも積極的に協力した。人数

| | | |
|--------------|--|----|
| 4月11日 | 茅ヶ崎市新採用職員研修「行政とNPOの協働」 | 42 |
| 4月19日 | 小田原市役所視察 | 3 |
| 6月20日 | ボランティア大学「市民活動分野の紹介」 | 61 |
| 8月23日 | 大和市役所視察 | 2 |
| 7月28日 | 二宮市社会福祉協議会視察 | 2 |
| 9月29日 | アクションポート横浜ほか | 13 |
| 10月17日 | 市民立太陽発電所れんこちゃん1号発電量測定 一般財団法人太陽光発電システム鑑定協会ほか | 6 |
| 10月24日～11月6日 | 茅ヶ崎市役所NPO等への職員派遣研修（10日間） 環境美化センター職員 | 1 |
| 11月6日～16日 | 茅ヶ崎市役所NPO等への職員派遣研修（10日間） 企画経営課職員 | 1 |
| 12月4日～14日 | 茅ヶ崎市役所NPO等への職員派遣研修（10日間） 開発審査課職員 | 1 |
| 12月6日 | 茅ヶ崎市健康づくり講座 | 24 |
| 10月27日 | 寒川町役場職員太陽光発電視察 | 4 |

1-5. ロッカー、レターケース利用団体宛ものファックス及び郵便物の取り次ぎに関すること[事務局]

事務局がないNPOに対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出、私書箱的な使い方ができるレターケース利用も増加した。2012年度はレターケースの新規利用申し込みが13件あった。東日本大震災復興支援、イベント申込み仲介などの利用が多かった。

- (1) **復興支援募金 石巻へグランドピアノ寄贈・運送費の仲介** 募金箱設置（4月7日～5月13日）
使われなくなった個人宅のグランドピアノをNPO法人国境なき楽団を通じ、宮城県石巻市に届けるにあたり、「できることをできるだけプロジェクト」として稼働するための運送費募金箱をセンターに設置した。集まった募金は約20万円。「松林の風チャリティコンサート」での募金と合わせて総額459,096円が運送費や今後の維持管理費に充てられた。
- (2) **湘南海岸砂草の100人里親プロジェクト2012** 砂草の苗の仲介
NPO法人ゆいの砂草里親プロジェクト説明会に参加できなかった里親に渡す「ハマボウフウ」の苗をサポートセンターで預かって仲介した。
- (3) **復興支援物資 南三陸戸倉地区へお餅の仲介**（12月8日12月21日）
Team Aid for Japan(TAJ)～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティアが継続的に支援している南三陸にお餅を届けるにあたり、センターにて物資の仲介をした。
- (4) **「母たちのバレンタインー揆」ファトレードチョコの販売許可**（1月28日～2月13日 全8回）
あばあばの木の母たちが映画「バレンタインー揆」続・企画として、月・水・金の「ほか・ほか」の販売時

間に合わせて、サポートセンター内でチョコを販売。チョコによる児童労働やフェアトレードの啓発。売り上げから経費を除き 30,917 円が世界の子どもを児童労働から守るNGO「ACE」に寄付された。

1-6. さぼせんサポーターズ制度

社会的な課題解決に取り組むNPOのスキルアップやサポートセンターの運営を支えるプロボノ的ボランティア「さぼせんサポーターズ」が 2013 年 3 月末までに 20 名が登録。週 1 日、利用者の IT スキルアップのサポートを実施。またさぼせんの事業運営でも大活躍。この「さぼせんサポーターズ」が、2013 年 4 月からNPOの活動に資する機能として「NPOサポーターズ」に名称を改め、NPOの会計・労務・情報発信などを支援する人材の増強に努める。今後のますますの活躍が期待される。

1-7. さぼせん内に 珈琲販売コーナー「ほか・ぽか」誕生

障がいのある人の社会参加を支援するために自家焙煎珈琲ショップを立ち上げた社会福祉法人翔の会から販路開拓の相談を受けたのがきっかけとなり、市の了解を得て、サポートセンター内に珈琲販売コーナー「ほか・ぽか」が誕生。4 月から運営を担う地域サポーター「ほかココロ」が発足し、準備が進められ 11 月にプレオープンした。精神障がい者の支援をしている「みらまーる」のクッキーとセット販売を行いながら 2013 年 4 月にグランドオープンを迎える。

1-8. その他

四半期ごとに指定管理業務実地調査が行われ、おおむね優良であることが確認された。

(1) 花壇整備

花壇ボランティア(さぼせんサポーターズと会員)による植栽デザイン、適切な施肥と除草により、四季折々の草花が咲き乱れ「さぼせん」の顔として好評を得ている。

(2) 環境への取り組み

キャノピースイッチによる不要な照明の消灯など節電に努めた。

「ワットアワーメーターAらま〜」(消費電力測定器)をNPO法人ちがさきエネルギーネットワークより預かって貸出を開始した。

2. 社会貢献活動に関する相談、助言事業

余暇支援ネットワーク

茅ヶ崎市社会福祉協議会が事務局となり、障がい児・者の余暇支援の情報交換を行った。
障がい児地域生活支援者連絡会への参加（2回）、余暇支援ネットワーク会議への参加（2回）
10月20日（土）「キラキラちゃんふる音楽祭」開催（当法人が協賛）

3. 社会貢献活動を行う個人および団体相互の交流事業

ぱりあふりーカフェ

ぱりあふりーカフェは、「街のなかで普通に暮らす。障がいがあっても、楽しくつながり、働きたい」をテーマに、2008年から茅ヶ崎市民活動サポートセンターの委任事業として実施してきた。第1回カフェに参加された方たちの出会いの中から就労支援の福祉施設「夢ある街のたいやき屋さん若松町店」が生まれ、コミュニティカフェゆめたいの協力により障がい者のキャリア支援相談も行われるようになった。そこで2012年度は、自主事業としてリニューアルしてカフェを実施し、サポートセンター内に誕生した福祉施設の珈琲販売支援スタンド「ほか・ぽか」お披露目の機会にもなった。

ぱりあふりーカフェ “カフェおひさしぶり”

10月28日（土） 場所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター 参加者 30名

障がい者のキャリア支援について 行成文男氏 コミュニティカフェゆめたいキャリアアドバイザー

「やった！就労成功」体験発表 高木祐一氏

珈琲販売スタンド「ほか・ぽか」誕生 小林紀男氏 地域サポーター「ほかココロ」代表

Sapocen「ほか・ぽか」コーヒー販売開始

参加者リレートーク

協力：「ほか・ぽか」運営主体“地域サポーター「ほかココロ」”

社会福祉法人翔の会鬼瓦味噌蔵、NPO法人松の実会地域活動支援センター「みらまーる」

4. 社会貢献活動に携わる人材育成事業

平成24年度市民提案型協働推進事業「新しい公共の担い手ブラッシュアップ事業」

茅ヶ崎市と特定非営利法人湘南ふじさわシニアネットが協働してさらに当法人が協力、推進して実施された。この事業は次の1)市民活動団体の実態調査、2)基盤強化のための啓発事業、3)NPO 支援人材発掘事業の3段階で構成された。

- (1) **実態調査**:市民活動団体283団体にアンケート調査を行い175団体から回答を得た。市内で活動する市民活動団体の現状や課題が分析された。
- (2) **基盤強化のための啓発事業**:実態調査を踏まえ、ニーズの高い項目の検討がなされ、それらニーズを考慮したテーマで講師を迎え、全5回にわたるセミナーが実施された。
- (3) **NPO 支援人材発掘事業**:さがみはら市民活動サポートセンター、茅ヶ崎商工会議所訪問などを通じて調査を行った。いろいろ模索の上、当事業当初からの案でもあったアクティブシニアと市民活動団体の出会い、マッチングイベントを2月23日にサポートセンターで実施。シニア市民38名市民活動団体

15名が参加し盛況のうちに終了した。

今後人材発掘は「茅ヶ崎商工会議所の産業振興サポート事業」からの支援・当団体のサポーター制度へその趣旨が引き継がれていく予定である。

5. 情報の収集と提供事業

(1) コミュニティビジネス応援

新規事業として、地域課題を解決するために持続的に行う事業型の活動に注目し、「コミュニティビジネス(CB)応援プロジェクト」の取り組みを発足した。12月から3月まで財務会計体質改善プログラムの個別支援を受ける機会にも恵まれ、茅ヶ崎らしい事例の紹介を目的に活動を始め、今年度はその準備期間となった。

- 1) コミュニティビジネスの定義・特徴について討議
- 2) 市内の事例のリストアップ(15~20事例)
- 3) 市内・市外の事例研究(3事例)
- 4) 経営コンサルタント斎藤正喜氏による実地研修(全4回)を実施

財務会計・収益向上のための全体報告会／事例共有会(2013年3月26日)にて、さぼちがの事例紹介現地での実地指導では、基本的なマーケティング法(外観から見る内部の状況、集客方法、周りの環境、顧客を知る)、人が集まる仕掛けづくり、そして失敗にめげないチャレンジ精神などコミュニティビジネスのノウハウを学ぶことができたのは大きな収穫であった。また多くの成功事例の話を聞いて、市民の生活・個人の特性に合わせたきめ細やかなニーズに応えて行けるのは、やはりコミュニティビジネスであると確信した。コミュニティビジネスの特徴をより深く理解し、今後の活動をより明確にしていきたい。

(2) 会員情報紙「ハーモニー」の発行

積年の課題であった会員向け情報紙「ハーモニー」の発行を新規事業として取り組むことができた。隔月に届けられる紙面には、会員、賛助会員、サポーターズが、それぞれの活動紹介をはじめ、自由なテーマで想いを述べ、多彩な趣味や毎日を伺い知ることができ旧交を温める機会になっている。また、自己紹介に加え、日頃思っていること、チャレンジしたいことなどの寄稿を通して、お互いをより知りあうことができ結束力も高まった。

積極的なご協力により2012年度は、4月創刊号、6月号、9月号、11月号、2013年1月号 3月号と6回発行し26名の方々を紹介。来年度は年4回(春、夏、秋、冬)の発行を予定している。

6. 政策提言・協働に関する調査研究事業

(1) 新しい公共研究会 仮称「新しい公共円卓会議準備会」

- 1) NPOと行政による合同調査研究報告書 [2011年(平成23年)9月] 提言の骨子
 - ① 「新しい公共」の推進に向けた役割と推進体制を話し合う仕組みの構築
 - ② NPO等の公的事業進出支援体制の再構築
 - ③ 中間支援組織の機能強化・充実
- 2) 茅ヶ崎市は「公民連携推進のための基本的考え方」を策定 [2012年(平成24年)2月]
 - ① 市民サービスの提供における多元的なしくみづくりを推進するため目指すべき方向性
 - ② 公民連携推進のための方策など 全市的な認識の共有化を図る。
- 3) 仮称「新しい公共円卓会議準備会」の立ち上げ[2012年(平成24年)5月]

1) と 2)をもとに、地域を構成する多様な主体が対等な立場で参加し、公民連携の推進に関して継続的に議論のできる場として、円卓会議の設置をめざし、新しい公共研究会メンバーならびに市職員で 2012 年 5 月から 2013 年 3 月まで全 6 回にわたる議論を行った。この議論を通じて一定の意見集約、仕組みの土台創りを仕上げ、4 月 8 日に服部市長とともに経緯説明と意見交換を予定し、準備会はその検討作業を終えた。

(2) 企業と NPO のマッチング

「企業と NPO マッチング事業発足の背景

少子高齢化による社会保障費や子育て支援費は、年々増大している。市民のニーズは、高度化・多様化している。また、税収の伸びは大きくは期待できない。

このような背景の中で、全国的に、まちづくり事業を官民がそれぞれの持ち味を發揮して行なうという「新しい公共」の考え方が生まれている。

茅ヶ崎市では、当法人(以下、「さぼちが」と言う)が、茅ヶ崎市長に提案し、行政・市民団体等で「新しい公共研究会」が共同研究を行い、2011 年 10 月に「新しい公共で茅ヶ崎を変える」報告会を開催した。同時に茅ヶ崎市は、「公民連携推進のための基本的な考え方」を打出している。

このような背景の中で、2012 年度新しい公共関連テーマ事業化として「企業と NPO マッチング事業」が、さぼちが自主事業として発足した。

主な活動は次の通りである。

- 1) 茅ヶ崎市と協働で市内 1800 社に「企業と NP パートナーシップに関するアンケート」を実施(6 月)
茅ヶ崎商工会議所の協力により 40 社から回答を入手。その内 20 社の半数は、NPO に関わりをもつ必要性に肯定的であったものの全体の傾向として「NPO と関わる意義がわからない」としている。
- 2) 茅ヶ崎商工会議所にて「企業と NPO の交流サロン」を開催(11 月 9 日)服部市長、田中商工会議所会頭等の参加を得て、アンケート結果報告、一般社団法人ソーシャルネットワークかながわ喜録英子氏の基調講演「できることからやってみよう」に続き、「つながりをつくるテーブル・ワーク」や「つながりを深める懇親会」では、顔の見える関係づくりの第一歩を踏み出すことができた。
参加者 35 名:企業 10 名・商工会議所 2 名、NPO 12 団体・市民 1 名、行政 10 名
- 3) 新しい公共支援事業「NPO と企業協働コーディネーター養成講座(初級編)」を受講(2013 年 1 月)
- 4) 市民提案型協働推進事業「NPO と企業の協働に向けた出会いと交流の場づくり」事業が内定。
2013 年度には、当 PJ の延長線上で実施予定。

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 活動基盤強化プログラム(新しい公共支援事業)による個別支援

1) Vision, Mission 作成応援プログラムおよび発信力強化プログラム

6 月から 11 月まで 5 回、個別支援のために株式会社ファンドレックスのイノウエヨシオ氏の訪問をうけ、ビジョン・ミッションの可視化や期限付きの目標管理の重要性を認識し、10 月、法人パンフレットを発行することができた。11 月は共感 CM づくりを行い、12 月、全体共有会に参加して、成果を発表した。回を重ねるごとに自主事業を推進する意欲も高まり、認定 NPO 法人化に向けて神奈川県条例指定 NPO 法人申出の準備も順調に進められた。

2) 財務会計体質改善プログラム

- ① 法人会計相談は、6月から11月まで3回、新しくなったNPO会計基準や指定管理者の課税について、会計ソフトの導入とその使い勝手についてアドバイスを受けた。また、会計処理の基本を確認し、新NPO会計基準に則した活動報告書や財務諸表を作成についても理解することができた。
- ② コミュニティビジネス事例研究（市外5例、市内2例）
 12月から3月まで4回、個別支援のため経営コンサルタント齊藤正喜氏の訪問を受け、市外の事例と市内現地での実地指導、基本的なマーケティング法（外観から見る中の様子・周りの環境・客層など）、成功条件を学ぶことができた。3月の全体共有会では取組事例を発表した。
 中間支援組織として様々な形で応援するために今回学んだ事（ビジネス手法、集客方法、顧客を知るなど）を今後の活動に活かしていきたい。

(2) Sapocen「ほか・ほか」の立ち上げ及び運営支援

障がいのある人の社会参加を支援するために自家焙煎珈琲ショップを立ち上げた社会福祉法人翔の会から販路開拓の相談を受けたのがきっかけとなり、市の了解も得て、サポートセンター内に珈琲販売コーナー「ほか・ほか」が誕生。利用しやすいワンコインでの販売を模索するなかで精神障がい者の支援をしている「みらまーる」のクッキーをセットにするアイデアが出てコラボにつながった。当法人は、運営主体の地域サポーター「ほかココロ」に対して初期投資（機材・備品等）など立ち上げ支援をおこなった。

(3) 行政・他機関等への講師派遣等

1) 講師派遣

対象人数

| | | |
|-----------------|---|-----|
| 4月06日 | 茅ヶ崎市役所新採用職員(前期)研修講座 「行政とNPOとの協働」講師 | 42 |
| 6月18日 | 茅ヶ崎市社会福祉協議会 ボランティア大学 市民活動分野の紹介 講師 | 61 |
| 9月9日 | 茅ヶ崎市健康づくり課講座 市民活動分野の紹介 講師 | 24 |
| 7月13日 12月24日 | 神奈川県民活動サポートセンターアドバイザー特別相談会 NPO 法人設立 | 2 |
| 5月14日 | 協働の新たなステージへの環境創造事業協議体 各地域における協働提案型制度の比較分析 鎌倉・川崎・茅ヶ崎・相模原 | 17 |
| 7月17日 | 協働事業の評価「どうやって目的を共有するか」 よくある協働のズレ 茅ヶ崎の事例紹介後、意見交換会 | 15 |
| 11月15日 | 協働とコーディネートの仕組みと担い手 茅ヶ崎の事例紹介 | 100 |
| 12月10日 | 中央大学 社会教育概論 11 ゲストティーチャー | |
| 12月18日 | 活動基盤強化プログラム全体報告会／事例共有会 さぼちが事例紹介 | 50 |
| 3月26日 | 財務会計・収益向上のための全体報告会／事例共有会 CB 事例紹介 | 8 |
| 3月9日 | 小金井市シンポジウム「先進市の協働事業に学ぶ」 「NPO側から見た茅ヶ崎市の協働事業」講師 | 30 |

2) 委員会委嘱等の協力

他機関への継続的な協力

| |
|--|
| 大和市民活動補助金選考アドバイザー 実績報告会 4月25日、選考会6月3日 |
| 茅ヶ崎市地球温暖化対策推進協議会委員 (年3回) |
| 茅ヶ崎市行政改革検討委員会委員 (年5回) |
| かながわ寄付を進める委員会委員 (年5回) |
| 2012 湘南ジャズフェスティバル実行員会委員 茅ヶ崎コンサート:5月20日 実行委員会 (随時) |
| 協働の新たなステージへの環境創造事業協議体 構成団体 (年5回) |
| 社会福祉法人翔の会 理事 (年3回) |
| NPO 法人セカンドリーグ神奈川理事 理事会(年3回)および設立総会 7月4日 |
| 一般社団法人ソーシャルコーディネーターかながわ アドバイザー (特別相談会) |
| (財)ソロプチミスト日本財団平成24年度「社会ボランティア賞」募集に際し、宇都純子氏を推薦し、年次大会において同賞が贈呈された。 |
| 社会福祉法人翔の会評議員 評議員会(2月に委嘱 1回) |

その他の協力

2月23日(12月15日が雨天のため延期)

「キャンドルナイト茅ヶ崎2012」にキャンドルホルダーとして協賛。

3月2日 NPO法人パソコンボランティア湘南創立10周年記念 1名

3月27日 NPO法人わの会懇親・交流会 1名

法人運営

1. 通常総会の開催

2012年度通常総会

日時: 平成24年(2012年)5月16日(水) 15:00~17:40

会場: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

出席者数: 出席19名、委任状提出11名、合計30名(正会員総数32名、過半数が出席)

議事: 第1号議案 平成23年度(2011年度)事業報告の承認

第2号議案 平成23年度(2011年度)収支決算の承認

第3号議案 平成24年度(2012年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定

第4号議案 平成24年度(2012年度)収支予算の審議・決定

第5号議案 理事および監事の選任

第6号議案 組織図の変更

2. 臨時総会

日時: 平成24年(2012年)10月17日(水) 15:00~16:00

会場: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

出席者数: 出席11名、委任状提出17名、合計28名(正会員総数32名、過半数が出席)

議事: 第1号議案 茅ヶ崎市民活動サポートセンター指定管理者応募について

3. 理事会

(1) 定例理事会 2012年4月~2013年3月まで毎月第2水曜日に定例理事会を開催。(12回)

(2) 臨時理事会(5回開催)

- 4月18日 望ましい中期計画(ビジョン・ミッションの明確化)法人パンフレットの内容
- 10月13日 指定管理者3期目の応募にむけて職員体制、応募要項への質問事項
- 10月24日 指定管理者3期目の申請内容(理念・方針。事業計画等)の共有
- 1月25日 神奈川県指定NPO法人申出に向けて将来像・使命・目的の共有
- 3月20日 2013年度予算等

4. 指定管理者3期目応募

- 9月12日 理事会
- 10月01日～10月31日 指定管理者募集
- 10月04日 公募説明会 理事5名 スタッフ2名 (市役所車庫・倉庫棟会議室2)
- 10月13日 臨時理事会
- 10月19日 臨時総会にて指定管理者3期目の応募を可決承認
- 10月24日 臨時理事会
- 10月29日 指定管理者指定申請書提出
- 11月13日 面接審査 説明:事務局長、常勤スタッフ2名 (茅ヶ崎市総合体育館第2会議室)
- 11月21日 選定委員会より「選定結果」の通知
- 12月18日 茅ヶ崎市議会にて原案どおり可決

5. 神奈川県条例指定NPO法人申出

- 1月09日 定例理事会
- 1月15日 第1回事前相談(神奈川県NPO協働推進課)
- 1月25日 臨時理事会 事前相談報告 5か年事業計画
- 2月25日 第2回事前相談(神奈川県NPO協働推進課)
- 2月28日 県条例指定NPO法人申出・提出

6. 平成24年度財政援助団体等監査

- 2月13日 定例理事会
- 2月15日 市民自治推進課による財務会計資料の確認
- 3月07日 事前監査(監査事務局)
- 3月10日 定例理事会 事前監査での指摘事項の報告
- 3月27日 監査の講評(留意、検討すべきところは見受けられない)を受理。

7. 全体会の開催

必要に応じて開催した。

- 4月18日 役員選挙結果報告、2012年度のさぼちがの取り組み
- 9月19日 キャリア支援、さぼちがパンフレット、ぽか・ぽか設立経緯、懇親会
- 12月19日 NPO共感CMお披露目、鶴嶺高校生南三陸ボラメッセージDVD、懇親会
- 2月20日 コミュニティビジネス起業塾研修報告、県指定NPO法人申出、新会員紹介・意見交換

8. 事務局

事務局長、事務局次長、窓口スタッフリーダーのもと下記の体制でおこなった。

- ・常勤職員 2 名、非常勤職員 7 名、アルバイト 1 名、印刷機サポート職員 2 名。

窓口スタッフの熱意と実行力により各事業は滞りなく遂行されたが、次年度はスタッフを補充して IT 業務従事者の負担を軽減する必要がある。

事務局会議は必要に応じて、窓口スタッフ会議は毎月開催した。

9. 印刷機サポートスタッフ制度にキャリア支援を導入

就労が困難な障がい者の支援を強化充実するために、8 月よりコミュニティカフェゆめたいの行成文男氏の協力のもと「キャリア支援」をスタートした。

就労意欲のある就労者には、試行期間の終了後、目標管理表を作成し、3 ヶ月ごとに印刷機サポートスタッフと雇用者が面談の機会を持ち、互いの認識を確認しながら就労準備の目標を共有し達成状況のふりかえりを行うことになった。就労期間は原則 1 年間とする。

活動計算書

2012年4月1日から2013年3月31日

単位:円

| 科目 | 金額 | | |
|------------------|------------|------------|------------|
| I. 経常収益 | | | |
| 1. 受取会費 | | | |
| 正会員受取会費 | 113,000 | | |
| 賛助会員受取会費 | 24,000 | 137,000 | |
| 2. 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金 | | 148,288 | |
| 3. 事業収益 | | | |
| 自主事業収益 | 41,200 | | |
| 茅ヶ崎市指定管理事業 | 18,635,000 | | |
| 上記に付随する事業収益 | 3,321,744 | 21,997,944 | |
| 4. その他収益 | | | |
| 受取利息 | 1,339 | | |
| 雑収入 | 2,500 | 3,839 | |
| 経常収益計 | | | 22,287,071 |
| II. 経常費用 | | | |
| 1. 事業費 | | | |
| (1) 人件費 | | | |
| 給与手当 | 10,895,265 | | |
| 法定福利費 | 542,297 | | |
| 福利厚生費 | 103,567 | | |
| 人件費計 | 11,541,129 | | |
| (2) その他経費 | | | |
| 売上原価 | 1,914,770 | | |
| 事業経費 | 1,317,053 | | |
| 業務委託費 | 1,273,540 | | |
| 賃借・リース・保守料 | 1,557,580 | | |
| 旅費交通費 | 260,160 | | |
| 交流・研修費 | 43,000 | | |
| 通信・運搬費 | 266,090 | | |
| 電気・水道料 | 889,171 | | |
| その他経費 | 565,156 | | |
| その他経費計 | 8,086,520 | | |
| 事業費計 | | 19,627,649 | |
| 2. 管理費 | | | |
| (1) 人件費 | | | |
| 役員報酬 | 0 | | |
| 給与手当 | 1,140,000 | | |
| 人件費計 | 1,140,000 | | |
| (2) その他経費 | | | |
| 消耗品費 | 595,967 | | |
| 旅費交通費 | 111,146 | | |
| 通信費 | 256,509 | | |
| 支払手数料 | 1,680 | | |
| その他経費 | 387,127 | | |
| その他経費計 | 1,352,429 | | |
| 管理費計 | | 2,492,429 | |
| 経常費用計 | | | 22,120,078 |
| 当期正味財産増減額 | | | 166,993 |
| 前期繰越正味財産 | | | 1,639,144 |
| 次期繰越正味財産 | | | 1,806,137 |

財産目録

2013年3月31日現在

(単位:円)

| 1. 資産の部 | | | | 備 考 | | |
|-----------------------------------|----------------------------|------------|------------------|------------------|-----------|---------|
| 1. 流動資産 | | | | | | |
| 現金 | 手許現金 | 748,127 | <u>748,127</u> | 指定管理業務資産 | 69,074 | |
| 普通預金 | スルガ銀行 2307036 | 3,178,018 | | 指定管理業務資産 | 3,178,018 | |
| 々 | 茅ヶ崎郵便局 87210181 | 1,022,196 | | | | |
| 々 | 三菱東京UFJ 1640609 | 65,443 | | | | |
| 々 | 湘南信用金庫 4145609 | 643,806 | <u>4,909,463</u> | | | |
| 前払費用 | NPO総合保険ほか | | <u>132,934</u> | 指定管理業務資産 | 130,534 | |
| 立替金 | 源泉所得税還付金 | | <u>14,300</u> | 指定管理業務資産 | 14,300 | |
| 未収入金 | 指定管理から | | <u>46,670</u> | 指定管理業務資産 | 0 | |
| 流動資産合計 | | | 5,851,494 | | | |
| 2. 棚卸資産 | | | | | | |
| 貯蔵品 | 商品券 1000円× 4枚 | 4,000 | | | | |
| | 図書券 500円× 10枚 | 5,000 | | | | |
| | 図書券 1000円× 8枚 | 8,000 | | | | |
| | 図書券 2000円× 1枚 | 2,000 | | | | |
| | 図書券 3000円× 1枚 | 3,000 | | | | |
| | 図書券 5000円× 2枚 | 10,000 | | | | |
| | 郵便切手 50円× 148枚 | 7,400 | | | | |
| | 郵便切手 80円× 1枚 | 80 | | | | |
| | 収入印紙 200円× 3枚 | 600 | | | | |
| | はがき 50円× 39枚 | 1,950 | | | | |
| | QUOカード 5000円× 1枚 | 5,000 | | | | |
| | テレホンカード 500円× 1枚 | 500 | <u>47,530</u> | 貯蔵品は自主事業分 | | |
| 棚卸資産計 | | | 47,530 | | | |
| 2. その他資産 (1個1万円以上を掲載)..... | | 詳細は備品台帳に記載 | | | | |
| | 自転車・テント | 0 | | | | |
| | ノートパソコン 3台 | 0 | | | | |
| | シュレッター 2台 | 0 | | | | |
| | 軽量ラック 7台 | 0 | | | | |
| | パソコンHDドライブ 2個(外付け) | 0 | | | | |
| | スクリーン(大、小) | 0 | | | | |
| | ラジカセ | 0 | | | | |
| | パソコン(デスクトップ) 2台 | 0 | | | | |
| | 印刷機用カラードラム 2台(緑、茶) | 0 | | | | |
| | Canonプリンター | 0 | | | | |
| | 放射線線量計 | 0 | | | | |
| | スピーカー(縦型、箱型)・ハンドマイク | 0 | | | | |
| | ボイスレコーダー 3台 | 0 | | | | |
| | ビデオカメラ | 0 | | | | |
| | レジスター | 0 | | | | |
| | Canonデジカメ | 0 | | | | |
| | プロジェクター2台 | 0 | | | | |
| その他資産合計 | | | 0 | | | |
| 資産の部合計 | | | 5,899,024 | (A) | | |
| 2. 負債の部 | | | | | | |
| 1. 流動負債 | | | | | | |
| 預り金 | 源泉所得税、健康保険料他2名分 | 94,986 | 指定管理 | <u>265,596</u> | 指定管理業務負債 | 94,986 |
| | 湘南ふじさわシニアネットより | 170610 | 自主 | | | |
| 未払金 | (1)3月分職員人件費、有給休暇分(4月10日支給) | 1,369,776 | 指定管理 | <u>2,492,551</u> | 指定管理業務負債 | 245,905 |
| | (2)管理人件費、交通費、社会保険料ほか | 289,597 | 〃 | | | |
| | (3)ワイワイまつり他企画運営費 | 186,575 | 〃 | | | |
| | (4)消耗品購入代、修繕費(アスル他) | 91,511 | 〃 | | | |
| | (5)施設管理/運用費(4月支払い) | 137,798 | 〃 | | | |
| | (6)花壇整備費、HP維持管理費、会計士謝 | 145,000 | 〃 | | | |
| | (7)機器保守料 | 50,000 | 〃 | | | |
| | (8)電話通信費、インターネット使用料(NTT) | 62,669 | 〃 | | | |
| | (9)旅費交通費、交流研修他 | 35,640 | 〃 | | | |
| | (10)その他 | 123,985 | 〃 | | | |
| | 事業人件費(HP作業)他 | 36,805 | 自主 | <u>36,805</u> | | |
| | 3月分人件費(4月10日支給) | 75,100 | 機械保守 | <u>193,935</u> | | |
| | 用紙購入代(リコー他) | 28,045 | 〃 | | | |
| | 印刷インク購入代(デュプロ、ヤマガミ) | 32,130 | 〃 | | 指定管理業務負債 | 534,000 |
| | 印刷マスター購入代(デュプロ、ヤマガミ) | 23,940 | 〃 | | | |
| | コピー保守消耗品3月分(リコー) | 13,920 | 〃 | | | |
| | その他 | 20,800 | 〃 | | | |
| 未払税金 | 法人県民・市民税 | 70,000 | 指定管理 | <u>534,000</u> | | |
| | 消費税 | 464,000 | | | | |
| 準備金 | 事業準備金 | | | <u>270,000</u> | | |
| 積立金 | 印刷機オーバーホール代 | | | <u>300,000</u> | | |
| 負債の部合計 | | | 4,092,887 | (B) | | |
| 3. 正味財産 | | | (A-B) | 1,806,137 | | |
| | | | | ・指定管理 | 389 | |
| | | | | ・自主事業 | 1,126,891 | |
| | | | | ・機械保守 | 678,857 | |

貸借対照表

2013年3月31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|
| I.資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 5,657,590 | | |
| 未収入金 | 46,670 | | |
| 立替金 | 14,300 | | |
| 前払費用 | 132,934 | | |
| 棚卸資産(貯蔵品) | 47,530 | | |
| 流動資産合計 | | 5,899,024 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1)有形固定資産 | | | |
| 土地・建物 | 0 | | |
| 車両運搬具 | 0 | | |
| 有形固定資産計 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 5,899,024 |
| II.負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 3,257,291 | | |
| 預り金 | 265,596 | | |
| 流動負債合計 | | 3,522,887 | |
| 2. 固定負債 | | | |
| 積立・準備金 | 570,000 | | |
| 固定負債合計 | | 570,000 | |
| 負債合計 | | | 4,092,887 |
| III.正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産 | | 1,639,144 | |
| 当期正味増減額 | | 166,993 | |
| 正味財産合計 | | | 1,806,137 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 5,899,024 |

1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1)棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は先入れ先出し法によっています。

(2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

(3)消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込経理方式によっています。